



なりた 2 c h

第29回定期委員会



成功裡に終了!

3月17日、成田支部事務所にて、第29回定期委員会を開催しました。参加した委員からの実践的な発言により、1年間の中間総括として運動方針が満場一致で可決され、定期委員会は成功裡に終了しました。

岩井 執行委員長あいさつ

バス千葉分会で発生したパワハラ問題は、腹立たしく許せない。バス分会と連帯し、問題に向き合ってきた。労働組合として活動し、解決に繋がられた。

過半数代表者選挙で現れた課題を基に、現場の声を掴むといった労働組合の必要性を訴えていくことが大切だ。特に26春闘の、職場の努力に報いない会社回答を労働組合として受け入れられない!

委員からの発言内容

バス関東で発生したパワハラ問題で、当該組合員は2月20日に職場復帰し、3月1日に1人乗務を開始した。情報誌等で公にした事で、バス関東会社を動かせた。

26春闘の職場集会で、3日間で40名が参加。このような場で意見を出す事が大事。

決算データを見ると、稼いだ額以上に投資に回している。経営の判断はあるにせよ、設備投資だけでなく、私たち人にも投資をするべきである。

高卒社員を増加するとの事だが、今更感が否めない。2月の雪害では運転計画が二転三転した。混乱を防ぐためにも最初から終日運休を決定しても良かったのでは?

過半数代表者選挙は年々厳しくなっている。職場環境に直結する安全衛生委員会で労働者の意見を反映させるためにも、物言える社員代表を選出する事が大切だ!

安全第一・皆が働きやすい職場を創るため

東労組に
結集しよう!